

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年11月16日(2017.11.16)

【公開番号】特開2016-5527(P2016-5527A)

【公開日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-003

【出願番号】特願2015-18034(P2015-18034)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月6日(2017.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判別を実行することが可能な判別手段と、

その判別手段による判別結果を示すための演出を実行する演出実行手段と、

遊技者が操作することが可能な操作手段と、

前記演出実行手段により実行される前記演出の実行期間内に、第1特定期間とその第1特定期間よりも所定期間経過した期間である第2特定期間とを設定する特定期間設定手段と、

その特定期間設定手段により設定された前記第1特定期間と前記操作手段が操作された操作期間との第1対応情報と、前記操作手段が前記操作期間から続けて操作された状態から解除された解除期間と前記第2特定期間との第2対応情報とに基づいて、複数の特定演出より1の特定演出の実行を決定する決定手段と、を有するものであることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

特定の前記判別結果を示すための前記演出が実行されたことに基づいて、遊技者に有利な特典を付与する特典付与手段を有するものであることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、かかる遊技機では、更なる遊技の興趣向上が求められていた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、判別を実行することが可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための演出を実行する演出実行手段と、遊技者が操作することが可能な操作手段と、前記演出実行手段により実行される前記演出の実行期間内に、第1特定期間とその第1特定期間よりも所定期間経過した期間である第2特定期間とを設定する特定期間設定手段と、その特定期間設定手段により設定された前記第1特定期間と前記操作手段が操作された操作期間との第1対応情報と、前記操作手段が前記操作期間から続けて操作された状態から解除された解除期間と前記第2特定期間との第2対応情報とに基づいて、複数の特定演出より1の特定演出の実行を決定する決定手段と、を有するものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、特定の前記判別結果を示すための前記演出が実行されたことに基づいて、遊技者に有利な特典を付与する特典付与手段を有するものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1記載の遊技機によれば、判別を実行することが可能な判別手段と、その判別手段による判別結果を示すための演出を実行する演出実行手段と、遊技者が操作することが可能な操作手段と、前記演出実行手段により実行される前記演出の実行期間内に、第1特定期間とその第1特定期間よりも所定期間経過した期間である第2特定期間とを設定する特定期間設定手段と、その特定期間設定手段により設定された前記第1特定期間と前記操作手段が操作された操作期間との第1対応情報と、前記操作手段が前記操作期間から続けて操作された状態から解除された解除期間と前記第2特定期間との第2対応情報に基づいて、複数の特定演出より1の特定演出の実行を決定する決定手段と、を有するものである。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、特定の前記判定結果を示すための前記演出が実行されたことに基づいて、遊技者に有利な特典を付与する特典付与手段を有するものである。よって、遊技の興趣を向上できるという効果がある。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1844

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1844】

遊技機 A1 から A14, B1 から B10, C1 から C9, D1 から D12, E1 から E6, F1 から F5, G1 から G5, H1 から H4, I1 から I4, J1 から J5, K1 から K7, L1 から L23, M1 から M7, N1 から N4 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 E3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、当たり状態において、可動部材が可動するものがある（例えば、特許文献 1：特許第 2514417 号公報）。

しかしながら、かかる遊技機では、可動部材が可動することにより、遊技に集中できず、遊技者に違和感を感じさせる虞があった。

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技者に違和感を与えることを抑制できる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思考 1 の遊技機は、抽選条件の成立に基づいて、抽選を実行する抽選手段と、その抽選手段による抽選結果を示す識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に所定の抽選結果であることを示す前記識別情報が表示されたことに基づいて、遊技球が入球し難い閉鎖状態から入球し易い開放状態とに可変可能な可変入賞手段と、を有し、前記可変入賞手段は、所定条件の成立に基づいて、前記可変入賞手段に入球した遊技球が入球可能な特定領域を開閉する開閉手段と、その特定領域に遊技球が入球したことを検出する入球検出手段と、を有し、前記入球検出手段により遊技球が検出されたことに基づいて、遊技者に有利となる特典状態を付与する特典状態付与手段と、少なくとも前記開閉手段が動作される場合に、所定の演出をする演出実行手段と、を有するものである。

技術的思考 2 の遊技機は、技術的思考 1 記載の遊技機において、演出実行手段は、前記表示手段に特定の表示態様を表示させるものである。

技術的思考 3 の遊技機は、技術的思考 1 または 2 記載の遊技機において、前記演出実行手段は、前記演出として前記可変入賞手段の前面側に手をかざすことを示す報知態様を報知するものである。

技術的思考 4 の遊技機は、技術的思考 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機において、前記演出実行手段は、前記開閉手段が動作される所定期間前から動作される期間に跨って少なくとも実行されるものである。

技術的思考 5 の遊技機は、技術的思考 1 から 4 のいずれかに記載の遊技機において、前記可変入賞手段は、遊技球が入球可能な開口部と、その開口部を前記閉鎖状態で遊技球が入球困難な状態と前記開放状態で入球可能な状態とに可変する規制部材とを有し、前記開

閉手段は、前記開口部から前記特定領域まで遊技球が流下するのに必要な時間よりも短い短開時間と、前記開口部から前記特定領域まで遊技球が流下するのに必要な時間以上の長開時間とのどちらか一方を所定条件に基づいて実行するものである。

<効果>

技術的・思想1記載の遊技機によれば、抽選条件の成立に基づいて、抽選手段による抽選結果を示す識別情報が表示手段によって表示される。その表示手段に所定の抽選結果であることを示す識別情報が表示されたことにに基づいて、可変入賞手段によって遊技球が入球し難い閉鎖状態から入球し易い開放状態とに可変される。

可変入賞手段では、所定条件の成立に基づいて、可変入賞手段に入球した遊技球が入球可能な特定領域を開閉手段によって開閉される。そして、特定領域に遊技球が入球したことに入球検出手段によって検出されることに基づいて、特典状態付与手段によって遊技者に有利となる特典状態を付与される。また、少なくとも開閉手段が動作される場合に、演出実行手段によって所定の演出が行われる。

これにより、開閉手段の動作が所定の演出により目立たなくすることができる。よって、遊技の違和感を抑制できるという効果がある。

技術的・思想2記載の遊技機によれば、技術的・思想1記載の遊技機の奏する効果に加え、表示手段に特定の表示態様が演出実行手段によって表示されるので、開閉手段から遊技者の注意をそらすことができるという効果がある。

技術的・思想3記載の遊技機によれば、技術的・思想1または2記載の遊技機の奏する効果に加え、演出として可変入賞手段の前面側に手をかざすことを示す報知態様が演出実行手段によって報知されるので、開閉手段の動作が遊技者に判別でき難くすることができるという効果がある。

技術的・思想4記載の遊技機によれば、技術的・思想1から3のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、開閉手段が動作される所定期間前から動作される期間に跨って、少なくとも演出実行手段が実行されるので、より開閉手段の動作に遊技者が気づき難くすることができるという効果がある。

技術的・思想5記載の遊技機によれば、技術的・思想1から4のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、可変入賞手段では、遊技球が入球可能な開口部と、その開口部を遊技球が入球困難な閉鎖状態と入球可能な開放状態とに可変する規制部材とが備えられる。そして、開口部から特定領域まで遊技球が流下するのに必要な時間よりも短い短開時間と、開口部から特定領域まで遊技球が流下するのに必要な時間以上の長開時間とのどちらか一方を所定条件に基づいて、開閉手段が実行される。これにより、開口部に遊技球を入球させるか否かを容易な構成で制御できる。よって、遊技の制御を容易に構成できるという効果がある。